

エンジニアパーク

# Engineer Ring Park

私は室蘭工業大学を卒業後、1995年(平成7年)にPC橋梁メーカーに就職しました。学生時代から橋の設計には憧れがあり、そして中でも長大橋の設計は職場の花形でした。しかし何故か上司から任せられるのは、PC落石覆道、PC農業用水路や家畜糞尿用PCタンクなど花形とは程遠い物件ばかりで、長大橋を設計している同僚を横目に、あの頃は内心苦々しく思っていたものです。

ただ、今となってはその時の様々な経験が現在の私の礎になっていると感謝しております。

職場の諸先輩方には多くの技術士がいて、漠然と私はこの業界で生きていくためには必ず取得すると奮起。2003年(平成15年)に実務経験7年の受験資格で建設部門(鋼構造・コンクリート)に合格。また総合技術監理部門には当初あまり興味が無かったのですが、勉強するうちに非常に有益な資格であると実感し、挑戦。2011年(平成23年)に合格することができました。2015年(平成27年)から現職となり、落石対策工の提案・設計、プレキャスト構造物の開発・設計などの仕事に携わっています。

今は札幌を兼務しつつ海外法人担当として毎月ベトナムと台湾を往復する日々を送っています。ベトナムも台湾も都市部のインフラ整備は進んでいますが、山間部の道路などのインフラはまだ整っていません。今年4月3日に台湾を襲ったM7.2の大地震では震源の花蓮県が大きな被害を受けました。花蓮県の山間の道路はかねてから落石に悩まされてきた道路であり、現地の状況が今も気になります。

海外では使用する材料や政府の考え方など日本とは異なる点が様々あります。異国の地においても、技術士魂を心に秘め、どうやったら課題解決できるか、今も日々悪戦苦闘しているところです。

## 北島 幹士 (きたじま みきお)

●建設部門、総合技術監理部門

**勤務先**

株式会社ライテック 札幌支店



→次号は、鈴木健太郎さん(建設部門)

私は高校卒業まで地元の十勝で過ごし、化学系の専門学校を卒業後、食品の製造工場に就職しました。当時は就職氷河期ということもあり、就職できたことに安堵し、日々の職務を全うしていましたが、当時の仕事に漠然とした不安を感じるようになり、今後の将来について真剣に考えるようになりました。

今後の将来について「自分はどのような人生を

過ごしたいのか? また、そのために必要なものはなにか?」を考えたところ、幼少の頃から慣れ親しんだ北海道の自然環境に携わる仕事がしたいと思い、現在の建設コンサルタント会社に就職しました。

私が配属された部署では自然環境や社会環境調査を幅広く行う部署であり、これまでの経験から水質分析を担当していましたが、度々、専門外の調査(騒音振動調査・自然環境調査)に加わる機会が増えていきました。これら専門外の調査を行う先輩技術士は問題解決能力やリーダーシップを発揮して業務を遂行しており、私もこのような技術者になりたいと思って技術士受験に臨みました。

技術士受験では、先輩技術士から万全のサポートをしていただき、なんとか5年目で合格することができました。この間、全力でサポートをしていただいた先輩技術士の方々には頭が上がりません。

合格してからは技術士として技術力の研鑽に努める一方で社内の若手技術者の育成に取り組んでおります。若手技術者の育成はほぼ未経験で試行錯誤の毎日ですが、そのような私の指導が良いのか悪いのか、着実に成長を重ねる彼らの姿を近くで見られることが今の一番の楽しみです。また、これらの取組が地域社会の発展に繋がるようこれからも取組を続けていきたいと考えております。

## 寺澤 真吾 (てらさわ しんご)

●建設部門(建設環境)

**勤務先**

太平洋総合コンサルタント  
株式会社



→次号は、渡辺孝行さん(建設部門)